

□ 情報提供項目

イベントや久慈市津波避難訓練など取材対応をいただきたい行事についてお知らせした。

□ 記者との質疑応答

記者 避難訓練についてだが、概要と今回の新しい避難訓練のポイントや市としての特記事項等あったら教えてほしい。

市 津波避難訓練を、11月12日7時30分から行う。今回は昨年県が公表した津波浸水想定と被害想定を踏まえ、9月に改訂した津波避難計画を基に実施する予定としている。避難計画は、新たに93カ所の避難目標地点を設置し、主要な避難経路について設定している。今回の津波避難訓練については、津波避難場所も44カ所の開催となる。新たな避難の考え方ということで、今回から直ちに津波浸水想定区域外、避難目標地点を目指した後に速やかに避難してもらう訓練になる。当日は避難場所で受け付けや避難者の把握、防災用品や啓発用品の配布を行う。その他、県北広域振興局と地元の自主防災会と協力し、久慈地区合同庁舎に実際に避難する訓練を実施するとも聞いている。また、総合福祉センターでは保健所のペット同伴訓練、久慈東高等学校では、久慈警察署の車両退避訓練を行うと伺っている。なお、当日市長は中町イベント広場、副市長はつつじが丘霊園で対応することとしている。今回の避難訓練は、自主防災組織や町内会に事前に説明会を開催し、積極的に参加いただくようお願いしている。新たな避難計画で実施する訓練になるので、是非取材をお願いしたい。

記者 避難目標地点だが、当日、目に見えるような掲示やお知らせをするのか。

市 標識は間に合わないので付けていないが、当日は市の職員が旗やビブス等を付けわかるようにしている。

記者 常設の構造物や張り紙のようなものはあるのか。

市 わかるようにする必要があると思うので、今後整備をしたいと考えている。

記者 30分以内に移動するということが良いか。

市 昨年までは、避難場所まで30分以内というお願いをしていた。今年も30分以内に避難

記者 場所まで行ける人はそれで良いが、一旦避難目標地点を経由する人に関しては、避難目

市 標地点まで30分以内に避難するようお願いをしている。その後、避難目標地点を通り避難場所まで避難することになる。

記者 目標地点に30分に改訂するものか。

市 30分以内というものの、速やかに避難してもらう、ということをお伝えしようと思っている。

記者 当日は、一旦津波目標地点までに行き、とどまったりせずに速やかに移動する、というようなイメージか。

市 職員がいるので、避難目標地点まで来た人は、そのまま避難所に向かってくださいという形にする。

記者 参加人数を確認するということか。

市 その通りである。

記者 対象地域や人員は、9月に津波想定説明会で頂いた資料で良いか。半分ぐらいが対象に

なると思うが。

市 今回の訓練で使うのが44カ所である。

記者 参加者の人数を、当日の夕方までにいただくことは可能か。

市 夕方までには集計がでると思う。周知方法は内部で検討する。

記者 合同庁舎で取材をしたいと考えている。市の職員は配置されるか。

市 市民課の職員を2人配置予定。合同庁舎は垂直避難である。

記者 訓練のチェックポイントだが、こういったところを生かすかなどあったら教えてほしい。

市 新たな考え方で実施する初めての訓練である。市民のほか参加機関があるので、こういったところに改善が必要か出てくると思う。その点を意見集約しながら進めて、次に繋げていきたい。

記者 昨年の参加は何人ぐらいか。

市 1,900人程度である。

記者 1,900人は関係者の人数も含まれるのか。

市 参加者の人数である。関係者の数を含めると2,000人を超える。

日本海溝・千島海溝の関係では、県から、県内最大の被害が出るとメッセージがきている。自主防の組織化も急いでおり、防災士の養成も今月実施予定で50人確保した。そういったものを整備し、自主防が自主的に動いていただく必要がある。市内統一の避難訓練に参加する意識をもってもらいたい。去年より高い参加目標を立て、協力要請をしているところである。まずは参加者を増やしたい。普段から備えが必要である。自分も関わっていかねばならないと求めていただかないと始まらないと考えている。

記者 参集目標とあったが具体的な人数はあるか。

市 人口が密集した場所が浸水想定区域になっているので、倍とはいかないものの、3,500人程度参加いただきたい。

記者 避難目標地点と避難場所だが、避難目標地点を経由したかどうかなどのチェックをするのか。

市 目標地点を経由してきた人の人数の把握と、避難場所に直接来た人数を足して参加者として把握したいと考えているが、わけられるかどうかやってみないとわからないところがある。

記者 当日の報道対応は誰がやるのか。

市 自身は3階で情報伝達会議の訓練を行う。8時45分頃には終了している予定であるので、それ以降は取材対応可能である。

ほろ酔いモニターツアーは市が単独で行うことで良いか

記者 JRびゅうと共同である。

市 観光利用ということか。

記者 利用者が少ないということで、いろいろなことをやり利用実績を上げる取り組みである。まずは、久慈市でできることをやってみようと思えるものである。

あまちゃんの効果などお伺いしているが、今後のことでお伺いしたい。ロケ地になっている建物や施設で、具体的に言えば駅前デパートだが、民間の持ち物であると思う。行政として保存という表現が適切かわからないが、永続的持続的な対応などする可能性があるかお尋ねしたい。

市 市の関与は難しい。あまちゃんファンは駅前ビルを見て写真を撮る人もたくさんいる。しかし老朽化が進み、本体がかなり古くなっているので保存は難しいと思っている。この建物は民間の施設であり、久慈市の財政状況の都合もあるので、まずは老朽化対策を所有者の人にやってもらうのが一番だと思っている。実際、駅前ビルだけを市が関与することができるのかどうか。他のも老朽介している建物がかなりある。他の建物の扱いとバランスを取る必要がある。あれだけが特別扱いというわけにはいかない。建物そのものは危険な状況であると県から指導されていると聞いているので、まずはそちらの方で対応していただくということになると思う。

記者 駅前デパートは指導が入っているレベルでその後どのようにするか市に情報は入っていないということか。

市 そのとおりである。市が所有している建物であれば当然対策が必要だが、民間が所有している物件についてはそれぞれが対応していただくということになると思う。